

共生をイノベーションするーまちづくりとEBPM

主催：九州大学アジア・オセアニア研究教育機構文化変動クラスター

主旨

このシンポジウムでは、まちづくりとEBPM(エビデンスに基づく政策決定)の視点から、共生とイノベーションについて検討します。共生は、異なるバックグラウンドや文化を持つ人々が協力し、調和のとれた社会を築くことを意味します。そのためには、多様な人々の協力だけでなく、共生イノベーションやエビデンスの重要性も考えなければなりません。

例えば、医療通訳の分野では、ITのイノベーションによって医療通訳が進化しています。共生においては、子供やジェンダー、外国人などの異なる背景を持つ人々との関わり方が重要ですが、直接的なエビデンスの取得が難しい場合もあります。そのため、EBPMの障壁や課題にも目を向ける必要があります。

このシンポジウムでは、以下の2つのポイントについて探求します：

1. イノベーションによって、どのように共生を促進できるのか？
2. エビデンスの取りにくい領域において、どのようにEBPMを進めるべきか？その際にイノベーションが果たす役割は？

シンポジウムでは、共生とイノベーションに関する講演やパネルディスカッションを行います。さらに、スタートアップ企業や地域の関係者との連携によるイノベーションの事例も紹介します。共生とEBPMが新たなまちづくりの手法としてどのような可能性を持つのか、皆さんと一緒に探求していきたいと思います。

日時：2024年1月19-20日（金・土）

場所：九州大学西新プラザ

定員：100名（予約制）

主催：九州大学アジア オセアニア研究教育機構文化変動クラスター

共催：東洋大学グローバル・イノベーション学研究センター・武庫川女子大学教育学部・政治社会学会・政策情報学会

後援：事業構想大学院・日本科学振興協会

技術協力：九州大学病院アジア遠隔医療開発センター（TEMDEC）

Day 1: 2024年1月19日（金）

12:30-13:00 受付

13:00-13:20 開会式

開会挨拶：大賀哲

（九州大学アジア・オセアニア研究教育機構文化変動クラスター情報モジュール・モジュール長）

13:30-14:00 基調講演1: まちづくりとEBPM

杉谷和哉（岩手県立大学総合政策学部・講師）

14:10-15:40 パネルディスカッション1: 共生社会とEBPM

モデレーター：大賀哲（九州大学大学院法学研究院・准教授）

討論：杉谷和哉（岩手県立大学総合政策学部・講師）

報告：大山紘平（横浜市政策局データ・ストラテジー担当）

報告：鈴木暁子（京都府立大学京都地域未来創造センター・コーディネーター）

報告：後藤香織（福岡県議会議員）

報告:安成健一郎(福岡県医療指導課・参事補佐兼医療計画係長)

15:50-16:20 基調講演2: 地域連携とイノベーション
市川顕(東洋大学国際学部・教授)

16:30-18:00 パネルディスカッション2: 地域連携とイノベーションの事例研究
モデレーター:若林宗男(事業構想大学院・特任教授)
討論:市川顕(東洋大学国際学部・教授)
報告:小野悠(豊橋技術科学大学・准教授)
報告:北口勝也(武庫川女子大学教育学部・学部長)
報告:市川智恵(デロイトトーマツ ベンチャーサポート)
報告:荒井雄介(春日市選挙管理委員会事務局・書記)上野志保(春日市選挙管理委員会事務局・事務局長)藤村まこと(福岡女学院大学・准教授)

18:00-20:00 懇親会

Day 2: 2024年1月20日(土)

9:00-9:30 受付

9:30-10:00 基調講演3: まちづくりを科学する
小野悠(豊橋技術科学大学・准教授)

10:00-10:30 基調講演4: 事業構想計画におけるエビデンスの重要性とフィールドワーク
若林宗男(事業構想大学院・特任教授)

10:50-11:50 21世紀の地域連携の将来像: 高校生の研究発表
モデレーター:吉井美奈子(武庫川女子大学教育学部・准教授)
討論:加藤朋江(筑紫女学園大学・准教授)
報告:麻生才楽・田中佑樹・伊藤あやめ(リンデンホールスクール中高学部)
報告:川井和(長崎県立諫早高校)

12:00 -12:50 総括パネルディスカッション: 共生をイノベーションするための未来展望
モデレーター:大賀哲(九州大学大学院法学研究院・准教授)
パネリスト:杉谷和哉(岩手県立大学総合政策学部・講師)
パネリスト:小野悠(豊橋技術科学大学・准教授)
パネリスト:若林宗男(事業構想大学院・特任教授)
パネリスト:日野真子(合同会社げんてん・総括部長)
パネリスト:後藤香織(福岡県議会議員)

12:50 - 13:00 閉会式・まとめの挨拶